

2023JMCSA 自然保護委員総会 報告

6月15日19時10分より、JSOSビル3F会議室にて対面およびzoomにより理事、常任委員、専門委員15名が参加して2023年度自然保護委員総会が開催された。

まず、主催者を代表し前田主幹理事より、「登山月報等いろいろな場面で活動の見える化が進んでいる。本日は、昨年度の活動報告・決算、今年度の予算等の審議を通じ、委員会事業を活発に進めていくための議論をしていただきたい。JMCSAが抱えている赤字については、今後の対応を検討中である」旨の挨拶があった。続いて委員長より23年度の活動方針として「委員会活動の見える化を更に充実させ、『自然保護指導員』と『登山道の整備』に関する議論・活動に傾注する。秋の自然保護の集いはリアル開催を目指しオリセンを確保。出前講座は2県程度実施する。昨年度、自然保護指導員の特定を行い862名を確認したが、引き続きデジタル化に向け情報整備を進める」ことが示された。続いて22年度の事業報告及び23年度の事業計画が資料に沿って説明された。

更に会計担当猪狩委員より、22年度の決算報告及び23年度の予算が示された。昨年の予算額と決算額との大きな差異は、コロナ禍により委員だけの参加となった研修会やzoom開催となった自然保護の集い等で収入・支出が発生しなかったことによるとの説明、さらに補正予算が承認され、自然保護指導員の腕章代が支出されているとの補足があった。また、今年度JMCSAの財務状況により予算削減の可能性がある旨の説明があった。

続いて23年度の自然保護委員会の体制につき、10名の常任委員が原案通り理事会で承認され、専門委員と併せ15名の体制で活動を担っていくことが報告された。

以上の報告、提案は、満場一致で了承された。

自然保護委員長 小高令子